

# 碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
神奈川 碩心 会 発行

11年6月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 130名 190名 33名 353名	11年6月 (323号) 発行者 千葉岳関 編集者 白井岳麗
---	------------------------------------	--------------------------------------

## 行事予定

○碩心会秋季審査会

日時・9月12日(日)

会場・逗子図書館ホール

○全国大会(名古屋)

日時・10月17日(日)

会場・名古屋公会堂

碩心会より10名参加

全国優秀吟者

## 碩心会予選会終る

全国優秀吟者碩心会予選会が逗子図書館ホールの講座室に於て6月6日に行なわれ、左記の方が予選会を通過しました。

漢詩の部

(氏名は申込順)

金子憲子

村井知子

森久美子

大前千恵子

水上昌子

加藤芳子

和歌の部

駒場咲子

田中好子

新井国夫

嵐田平二

人見久雄

根岸啓子

佐野ミサコ

## 平成11年度碩心会総会開かれる

日時 平成11年6月6日(日) 13時30分

会場 逗子市 体育館

松井正岳総務部長の司会により開会。千葉岳関会長は「本年は忙がしい年であるが、これは岳風流の発展につながるものであるから吟道発展のために、会員の活躍を期待したい」と挨拶があった。

当日の出席率90%以上で総会が成立する。

議長に千葉会長、書記に佐久間爽岳が任命され、議事が次の通り進行する。

10年度の経過報告があり、許証部より本年は県の45周年行事があるため、高段者の講習は9月5日に実施となった。その他、名簿を作成する際の氏名について正しい文字で申請して貰いたいと要請される。

10年度の決算報告、監査報告が行なわれ、これにもとづいて、熱心な質疑応答もあった。11年度の行事予定並びに予算について審議を終了し、議事は賛成の拍手をもって承認された。

決算書は別紙掲載

## 各地区長報告

逗子地区長 村田 岳 瀨

10年12月6日に逗子地区温習会が開かれ、逗子詩吟詩舞連盟の春秋の大会。その他今年も盛沢山の行事案内が次から次へと来ますので、各支部への割当参加者名簿提出と、支部長さんにはいつもご迷惑をかけております。いつもご協力いただきまして各大会共無事盛会に行なわれており喜んでおります。

逗子地区では今年、逗子市詩吟詩舞連盟の役員改選の年で、理事長に千葉岳関先生、副理事長に小林玲舟先生、青嵐会の吉岡岳宏先生にお願いいたしました。今後共よろしく。

葉山地区長 沼田 岳 義

各支部へ配布される書類には、よく目を通していただきたい。プログラム編成に必要な段位と会員番号は必ず記入の上、大会の申込書をメ切りより早めに提出願います。

大船地区長 山口 岳 夕

本年度の地区温習会当番に大船地区が担当となったので各地区皆様のご協力をお願いします。

## 企画部

企画部長 内山 俊 岳

平成11年度の初吟会は逗子会館に於て219名の参加があり盛大に挙行された。

第21回碩心会吟道温習会、6月27日には従来の合吟コンクールに替えて、連吟コンクールとし、23組の出場となりました。

## 教務部

教務部長 杉山 岳 雪

第二回碩心会の吟道講座が7月10日に開かれます。申込者は現在120名です。会場は図書館ホール。7月24日～25日は総本部の吟道講座が九段会館にて行なわれます。

## 広報部

広報部長 白井 岳 麗

会員の皆様から原稿を沢山いただき、ご協力を感謝します。今まで休刊なしで発行できました。今後の発行日は行事の都合もありますが、少し早めにしたと思います。

## 青少年部

青少年部長 上村 岳 章

8月8日に青少年大会が開かれますが、碩心会は少数なので、青少年育成のため会員をお誘い下さい。

## 第32回逗子詩吟詩舞連盟大会に参加して

逗子B 海津 勝 風

風薫る5月2日、朝から快晴の日。逗子図書館ホールに於て第32回詩吟詩舞の発表会が行なわれました。村田岳瀨先生の開会の辞に始まり、独吟、合吟と次々に皆さんの吟を聞かせていただき勉強になりました。

巖かと云えるほど素晴らしい立体吟は、シーンと静まりかえった中で吟と共に届けられる生花。流れるように書かれる書道の先生。その全部が一体となつて行なわれる様を見て、吟の道なればこそ見ることができると思えば嬉しくなつてきます。

詩舞ではその姿に見とれ、吟の素晴らしさに胸打たれました。

やがて自分の番になり、緊張しながら何とか、つかえないで出来たので「ホッ」としました。

大きな声を腹の底から精一杯出して、何もかも忘れてできる吟の道に、尚一層の努力をして頑張ろうと、勇気を与えられた一日でした。

本当にありがとうございました。

## 「寒河江吟行会」を終えて

企画部部长 内山俊岳

傾心会の吟行会は、42名の参加者全員なんのアクシデントもなく無事終りました。

6月13日出発の日は、早朝にもかかわらず全員定刻には集合、予定通りにバスは逗子市役所前をスタートしました。その後の行程はすべてスケジュール通りに進行し、翌日も予定より早く19時過ぎには逗子に帰着という誠に順調な一泊二日の旅でした。

天候にも恵まれた二日間、サクランボ狩りや、蔵王御釜の素晴らしい見晴らしを堪能しましたが、それにも増して感激したのは卯月会長をはじめとする寒河江吟友会幹部の方々の心のこもった歓迎の中で行なわれた「交流会」でした。

千葉会長、松井副会長はじめ、多くの人が今まで何度かの交流を通じ、寒河江吟友会は姉妹会となっており、今回も旧交を温めるために最良の機会でした。

松井岳洋先生のご指導を通して築かれた、寒河江吟友会の方達との交友が脈々と引きつがれ、時代を経てより強固に親交を深めてい

る姿は、初めて参加する者にとって大きな感銘を受けるものでした。

交流会の席上、宇都宮徳岳先生の作られた漢詩「寒河江吟友会に寄す」の色紙が贈呈され、全員でその詩を合吟したことは交流会に花を添えるものでした。

吟行会の公式行事といえる交流会、或は吟魂碑前や二本松大隣寺での合吟と、宴会やバス車中の無礼講ともいえるにぎわいが、ほどよく調和して誠に充実した吟行会であったと思います。

吟行会は、企画部が担当する一大イベントだけに、無事に終りホッとすると共に、これも皆様のご協力の賜と改めて御礼申し上げます。ご報告といたします。

### 吟行会に参加して

吟秀支部 加藤芳岳

6月13日、爽やかな快晴に恵まれて、バスは山形へ向けて直走り、寒河江吟友会員の拍手に迎えられて、交流会の行なわれる会館に到着しました。両会長のお言葉、力強い合吟、そして暖かいおもてなしに和やかな雰囲気がいっぱい満ち満ちて、詩吟の森の立派な吟魂碑に参拝

する折には、諸先生方の偉業に胸を打たれ深く感動致しました。続く「サクランボ狩り」は、赤く熟した実を含み、甘い香りに包まれて童心にかえった幸せなひとときでした。

夜は上山温泉にどっぷりつかり、日頃の疲れをすっかり癒し、美酒に酔い、気持ち良く夢路をたどったのでした。

14日は夜明けと共に飛び起きて散策を楽しみ、目的の朝市で食材の購入と郷土料理の情報入手と土産が出来ました。蔵王エコーラインは期待以上の素晴らしいドライブで、御釜はエメラルドグリーンの水に残雪が輝き、足元の小さな高山植物の花の姿が目に焼きついております。こけし館、酪農センターを見学、二本松少年隊の墓をおまいりして、一同無事に楽しい旅を過ごさせて戴きました。

企画部に感謝申し上げます。お疲れ様！

### 吟行会願目俳句

山口 岳 夕

みちのくの旅の始めの葱坊主

老鶯や蔵王の湖へ声ひびく

磯村 朋 岳

さくらんぼ種飛ばしあふ笑い声

テーブルにおいてきぼりのサングラス

## 碩心会寒河江吟行会へ参加して

逗子B 磯村朋岳

梅雨最中の吟行会なのでお天気が心配でしたが、お陰様で6月13日は、早朝から晴天。予定通り6時50分逗子を出発しバスは一路寒河江と走ります。

車中では、千葉岳閣会長の挨拶に始まり、自己紹介を兼ねて歌を、その後は宇都宮徳岳先生作による「寒河江吟友会に寄す」をはじめ「朗詠」「辞世」など吟の指導を受け全員で合吟をしながら、寒河江の交流会会場へ着きました。

寒河江吟友会の方々は、バスの到着を待たいられて、駐車場から会場まで並んで、迎え入れて下さいました。

寒河江吟友会会長の落ち着いた挨拶の中に今年、は碩心会と寒河江吟友会姉妹会提携14年目であること。寒河江吟友会の会員数が800名にも達したこと。松井岳洋先生が寒河江で教室を持つていられたことから、松井先生の揮毫による「吟魂碑」が立てられた。その場所を寒河江吟友会の方は詩吟の森と呼び毎月一回清掃をするそうです。

式次第は碩心会会長の挨拶、「朗詠」「寒河江吟友会に寄す」を碩心会が合吟し、寒河江吟友会は「寒河江城回顧」を合吟してセレモニーは無事終りました。

昼食をして吟魂碑の前では「辞世」の合吟と記念写真を撮り、一日目の最後はサクランボ狩。今回はサクランボが少し若かったが満足でした。そのあと上山温泉に着き宴会。

二日目も晴れ、蔵王エコーラインを御釜目指して登り、目前にコバルトグリーンの山上湖を見て、心地よい風に吹かれ、間近には残雪も見られ、素晴らしい景色を後に「こけしセンター」と「チーズ直売所」へ寄りました。

最終の行程である大隣寺に参拝し、松井岳洋先生揮毫による詩碑「嗚呼二本松少年隊」が目を引きます。戊辰戦争で散った14名の少年隊の墓が並んでいて、中には12才の少年も。胸が痛くなりました。「嗚呼二本松少年隊」を合吟。吟行会も静かに終る予定でしたが、車中は盛り上がりカラオケも熱気に負けたのか壊れる始末。最後まで参加者全員お腹をよじらせて楽しみました。是非また何時かこのような企画をお願いします。役員の方のお骨折りがとうございました。

## 碩心会寒河江吟行会戯歌紀行

禿象 宇都宮 徳岳 誌

寒河江渋谷会館の歓迎会にて  
寒河江での 歓迎会は いと嬉し  
心に通う おもてなしにて

吟行の 懇親会は いと楽し  
碩心会の 結束の元

女将以下 仲居一同 笑顔にて  
送る手に手に 花笠を持つ

二本松少年隊碑前で献吟して  
二本松 少年隊碑に 朗々と  
響くは何ぞ 碩心の吟

### 退会

200 藤村千風（若葉） 484 菊地多美江（逗子A）

### 編集後記

今月は総会のお知らせと、吟行会の旅行記により皆様の楽しい記事でまとめました。お疲れのところ、早速ご寄稿をありがとうございました。広報部